

東久留米市家庭ごみ有料化に向けた実施計画（素案）に対するパブリックコメントの概要

パブリックコメントでいただいた主な意見（平成24年10月1日～10月23日実施）

No.	意見	市の考え方
1	<p>1人暮らしの人とご家族2人以上の人はごみの量は違いますから、一律は不公平だと思います。</p>	<p>・家庭ごみの有料化にあたっては、有料指定袋をご利用いただき排出していただくことを予定しております。排出量が増えるにご利用いただく有料指定袋の容量（枚数）が増える仕組みとなります。ご家族の人数や家庭ごみの減量化にむけた努力等が反映されるため、新たにご負担をお願いする部分につきましては、公平な負担制度の構築に資する仕組みであると考えております。</p>
2	<p>これまでは通常の税金の予算枠内でされていたゴミ処理が、別途、有料化ということは、税金の値上げと同じである。私は23区内から転居した者だが、23区内では、通常の税金の予算枠内で処理されている。なぜ、追加で徴収をしないといけないのか、明らかにして欲しい。</p>	<p>・東京23区は海岸部と隣接している地域があるため、これを最終処分場として埋め立てに供することが可能となっており、現在でも中央防波堤埋立処分場において埋め立てによる最終処分を継続しております。しかしながら海岸部と隣接していない多摩地域においては内陸型の最終処分場に埋め立てざるを得ず、現在供用している二ツ塚最終処分場が埋め立て満了となった場合、新たな最終処分場の確保が極めて困難な状況にあります。このような状況を踏まえ、平成13年当時には多摩26市において最終処分場の確保という共通の課題に対応するため、全市において家庭ごみの有料化を導入すべきとしてきた経緯があり、26市中19市において実際に家庭ごみの有料化を実施しております。現在では最終処分場の長期的有効活用を図るため、多摩26市においては埋め立てによる最終処分ではなく、高額な費用を負担し埋め立てるべき焼却残渣（焼却灰）をエコセメントの原料として再資源化することで対応を図っている状況でございます。このような状況から家庭ごみの減量化に取り組む必要があり、そのために有効な手段の一つとして家庭ごみの有料化を検討しております。</p>
3	<p>①ごみ有料化は誤りです。ごみ収集実費の負担への移行です。税金を市役所に収めています。現在も収集の費用は市民の収める税金で賄っています。是非誤った言葉使いは止めてください。</p> <p>②ごみの出し方の「躰(ルールを守る)」肝心です。道路へのたばこ投げ捨て、ごみのポイ捨て、など等市民全員が意識を改革しなければなりません。</p> <p>③植栽の葉っぱ等と堆肥等の収集は如何様にするのか、示すこと。</p> <p>④現在の反省を先ずしましょう。</p> <p>(1)隣市民が東久留米市のゴミ箱を利用している。</p> <p>(2)市民のゴミ捨て ルール違反者の教育と躰を実施する。</p> <p>(3)市民による、道路清掃の実費は市民に支払うこと。</p> <p>それとも現在のゴミ対策課の人員で、箒とちりとり持参し、清掃に廻る。</p> <p>(4)植栽の枯れ葉などの道路への散乱者は事前に清掃費負担させよう。</p> <p>⑤有料化・・・化は市民に徹底されたら、有料化で良いが、現在は市の考え方であるから、ごみを実費負担への移行という言葉にして、誤った使い方を止めましょう。</p> <p>〇〇化は標準化されてから使う言葉です。</p>	<p>・一般廃棄物処理有料化の手引き（環境省）によれば、「有料化とは、市町村が一般廃棄物処理についての手数料を徴収する行為を指す。」とされており、東久留米市でもこの表現を使わせていただいております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>・ごみの排出は個人のモラルによらざるを得ない部分もございます。市といたしましても、今後も継続して広報やホームページ等で周知してまいります。</p> <p>・葉に関する考え方は、事業者が剪定した場合は事業系ごみ、ご自分の敷地内の植栽から発生する葉については家庭ごみ、風等で移動し責任の所在が不明確ないわゆる落ち葉については無料収集とする方向で検討しております。堆肥につきましては現在のところ市で収集することができません。民間事業者の紹介となりますのでご了承ください。</p> <p>・グリーンボックスについては本来、排出できる曜日や時間、利用者も定められておりますが、常設してあることからいつでも誰でも排出できてしまう状況でございます。またごみボックスを利用した収集の場合、排出者が特定できないことからルール違反があった場合に、ごみボックスへの貼り紙等により周知を図るしか方法が</p>

		<p>ありません。こういった状況を改善するため、ボックス収集から戸別収集への移行を検討しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境の美化については、市民の皆様と事業者及び市の三者がともに取り組んでいく必要がございます。ご理解・ご協力をお願いいたします。
4	<p>□家庭ごみの有料化および、グリーンボックスの廃止に大賛成です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ削減に対して最も実効性の高い方法は有料化であると思います。以前、西東京市に住んでいたときには有料化に最初は抵抗があったものの、なれてしまえば、削減へ向けて努力をするので、一定の効果があることを感じています。 ・グリーンボックスについては、即撤去を求めます。以前より、どのごみ置き場においてもボックスがあるがゆえに、ごみだしのマナーが守られず、ボックス以外のごみもあふれかえったり、通りすがりの人の投棄が目立ち、本当に無意味なものに感じていました。有料化実施とともに完全に廃止し、個人の責任のもとに廃棄する方法が一番理にかなっていると思います。 <p>市内のごみ置き場周辺はどこも不潔・不衛生で東久留米住民のモラルの低さおよび東久留米行政のごみに対する意識の低さを常々感じて辟易していました。これを機にボックスも回収することで、個人の意識の向上に期待したいと思います。</p> <p>□グリーンボックス置き場の今後の活用法について</p> <p>今後どのように活用されるか懸念しています。ボックス撤去の後でも、空き地のままであれば、不法投棄も考えられますから。</p> <p>私の住む住宅地では、ごみ置き場が市有地になっています。せっかくの土地ですから、緑地にして、市内の緑化のシンボルにしていくのはいかがでしょうか。ごみ置き場が近くにあることでの負担感、不公平感はいらないので、きれいな土地・有効活用していただきたい。</p> <p>以上、この計画を貫き、「古い体質の東久留米市」（実際住んでみてそう感じます）からの脱却を期待します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩地区では26市中19市において既に有料化を実施しており、実施した市の多くが、戸別収集と家庭ごみの有料化を併せて導入し、ごみの減量化に実績をあげています。これを踏まえ、当市では今後も皆様のご意見を頂戴しながら、ごみの減量化に向けた方策を検討していきたいと考えております。 ・グリーンボックスについては本来、排出できる曜日や時間、利用者も定められておりますが、常設してあることからいつでも誰でも排出できてしまう状況でございます。このような状況はごみの減量を進める上で有効な方策ではないと考えております。清掃施設のない地域ではボックス置き場の確保が難しくなっている状況もございます。戸別収集への移行に向けて地域ごとの実態を調査し、対策を講じてまいります。 ・ボックス撤去後の市が所有するボックス置き場の取り扱いについては地域ごとの特性等を考慮しながら検討を行う必要があるため、近接住民の方のご意見等を頂戴しながら検討していきたいと考えております。なお、不法投棄対策については必要な対策を講じてまいります。
5	<p>実施計画について：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大賛成です。 <p>1点目に有料化について。今や、ごみへの意識を高めるには、とても実効力の高い方法だと思います。実際に西東京市に住んでいて有料化でした。始めは抵抗感が強くありましたが、慣れてしまうと、できるだけごみを出さないようにするという意識が高まるので、効果が出ると思います。実際、有料化になって西東京市のごみ排出量も減っていますし。</p> <p>2点目にグリーンボックスの廃止について。どんどん廃止すべきだと思います。市内のごみ置き場はどこを見ても汚く、モラルもなく、正直東久留米市民や東久留米行政のごみに対する意識の低さに辟易していたところです。ボックスがあることで「いつでも出していい」と、ボックス以外のごみが積もっていることを多く見られます。ボックス＝鳥獣の被害を防げる、という文言がメリットにありますが、それ以上に不潔・不衛生のデメリット、子どもへの教育的側面を考えると、ただちに廃止すべきと思っています。この時代、ボックス使用なんて、時代錯誤すぎます。便利さく環境やごみ教育（ボックスに入れてしまえば何を捨てているのかわからない、はおかしい）の時代だと思います。</p> <p>提案：</p> <p>私の住む住宅街も、ごみボックス置き場が市有地となっています。ボックス置き場の今後については、せっかく市有地なのだから、緑地にして市内の緑化を奨励するシンボルにする方法をとってはいかがでしょう？</p> <p>ごみ置き場を家のすぐ近くにもつ家庭が、汚さやモラルのなさで不公平感を味わうのはおかしいです。</p> <p>以上です。ぜひ、このまま改革を続けて『古い体質の東久留米市』から抜け出してくれることを期待しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみの有料化を実施した多くの市で家庭ごみの減量化に実績をあげています。これを踏まえ、今後も皆様のご意見を頂戴しながら、家庭ごみの有料化にむけて検討していきたいと考えております。 ・グリーンボックスについては本来、排出できる曜日や時間、利用者も定められておりますが、常設してあることからいつでも誰でも排出できてしまう状況でございます。このような事情から不法投棄の温床となってしまう可能性もございます。また清掃施設のない地域ではボックス置き場の確保が難しくなっている状況もございます。戸別収集への移行については地域ごとの特性を踏まえて進める必要があることから、皆様のご意見を頂戴しながら、ごみボックスの撤去を進めていきたいと考えております。 ・ボックス撤去後の市が所有するボックス置き場の取り扱いについては、地域ごとの特性等を考慮しながら検討を行う必要があるため、近接住民の方のご意見等を頂戴しながら検討していきたいと考えております。
6	<p>ゴミ有料化に反対します。東久留米市無料ということはとても良い事と思います。悪い事まで他市のまねをする事は有りません。もしお金がたりないのであれば〇〇学習とか〇〇大会とかの個人が参加するようなもようし物から予算をけずればよいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみの有料化は家庭ごみの減量化を実現するための有効な手段の一つとして検討を進めております。すでに多摩地域において家庭ごみの有料化を実施した19市では家庭ごみの減量化に一定の効果을あげており、これらの事例を参考に、皆様のご意見を頂戴しながら検討していきたいと考えております。
7	<p>素案どころかゴミ有料化にハンタイです。もしお金がたりなかったら〇〇スポーツ大会〇〇講演会〇〇まつり生涯学習・男女共同参画等より予算をけずれば良いと思います。こうゆうもようし物には参加できない人がたくさんおります。市民みんなが利用するゴミ処理は無料のままにしてください。そのために税金を払っているつもりです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみの有料化は市の歳入増を目的とするものではなく、家庭ごみの減量化を実現するための有効な手段の一つとして検討を進めております。すでに家庭ごみの有料化を実施した19市

		では家庭ごみの減量化に一定の効果をあげており、これらの事例を参考に、皆様のご意見を頂戴しながら検討していきたいと考えております。
8	<p>まず1年間(平成25年4月から26年3月まで)戸別収集はしないで、これまでどおり、ボックス収集を継続する。理由は収集コストを削減できるから。</p> <p>袋は市が指定するものに限定する。以前に東京都が指定した袋に限定した時期があった。</p> <p>有料化により、袋の収入、ボックス収集による収集コストの節約とボックスの継続使用により、市の財政支出を抑制できるメリットがある。ゴミの減量化が有料化の目的ではない。廃棄物の財政改革が主目的である。</p> <p>環境のまち、”東久留米市”のイメージを守ることが大切ではなかろうか。</p> <p>1年間の実施状況(不法投棄、収集方法、分別の再検討、集団回収の改善等)の検証を行ったのち、改善案を検討することとしてはどうであろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行政として費用対効果等を考える事も重要な要素ではありますが、ボックス収集を継続しながら家庭ごみの有料化を実施した場合、有料袋以外のビニール袋等による排出を防げない恐れがございます。制度の根幹に関わる問題となるため家庭ごみの有料化と戸別収集の実施を合わせて行う必要があると考えております。また広報、周知の強化にあたっては戸別収集により排出者を特定できた方が効果的な対策を講じることができ、その結果としてごみの減量化に資することになると考えております。ご指摘の通り家庭ごみの有料化実施後も検証、改善を継続していく必要があると考えております。
9	<p>東久留米のゴミを有料化にするのは反対です</p> <p>理由は</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 周りの市はゴミは有料で、久留米は無料という理由で新たに住む住民が増えています 住民が増えれば、それだけ住民税などが増え財政は潤うはず 2. ひばりが丘の〇〇などでもよく目にしますが、スーパーに必要な無いトレーや包装など大量のゴミを捨てています そういう、スーパーのゴミを合算すれば、市全体のゴミは減るとは思えない 3. 消費が減る。消費が減れば、不景気につながります。消費税や市に構えているお店の税金など市の税収が減ります 4. 不法に捨てる人が、どんどん増える。 <p>有料のゴミ袋の減免枚数を常識の範囲で配布し、それ以上ゴミを捨てる人は有料で買うという案も見ましたが</p> <p>ゴミの出る量は、単純に人数では決まらないことがあります。 たとえば、寝るだけに家に帰る人もいれば、1日中家にいる人もいます。 前者は働いて収入のある方が多く、後者は高齢者や主婦子供など収入の無いものが多い 食べ盛りの子供がいれば、大量の食糧を買い生ゴミは沢山でる。</p> <p>常識の範囲での減免枚数は、いろいろな家庭環境があるので、とても難しい</p> <p>ゴミは有料にしても、全体のゴミは減らず、減るとしたらば、消費を抑えるだけで、経済的には悪循環なスパイラルになる</p> <p>今後消費税も上がることだし、ゴミを有料化にするのではなく、民間業者も入りゴミの処理をうまくできる方法を考えたほうが今後の為になります</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多摩地域においてすでに家庭ごみの有料化を実施している19市では、家庭ごみの減量化に一定の効果をj得ております。市ではこれらの先行例を参考にしながら、家庭ごみの減量化に有効な家庭ごみの有料化の実施方法について検討を進めてまいります。 ご指摘の通り、ごみの減量化を進めるにあたってはスーパー等で大量に廃棄されるトレーや包装をどのように減らすか、また再利用を図るかという面で、事業者の協力も不可欠でございます。現在も、事業者側にご協力を頂き実施しておりますが、「ごみ減量化・資源化協力店」として「簡易包装の推進」「使い捨て容器の使用自粛」「リサイクル製品の販売」等に積極的に取り組んでいただくよう周知を一層進めてまいります。 持続的な成長が可能な循環型社会形成のためには限りある資源を有効に利用することが求められております。そのため、まずはごみの発生抑制に努める必要があります。不要な物は買わない、長く使えるものを選ぶ、購入したものは大切に使うこと等が求められております。これまでの消費のあり方を含め、見直しを図る必要があります。ご理解のほどよろしくお願い致します。 有料のごみ袋については1リットル当たりの単価を定め、複数種類の容量の袋を作成する方向で検討しております。現在のところ全ての市民の方に無料で配布することは検討しておりません。 家庭ごみの減量化を進めるにあたっては、集団回収による資源物回収量の増加、分別収集の推進による再資源化物収集量の増加等も有効な手段と考えております。柳泉園組合における中間処理だけでなく民間活力を効果的に活用し、ごみの減量化に努めてまいります。
10	<p>私の地域では、ごみの削減を協力しあってやっています。市民は各々に大きな努力をしているのです。「有料化すればごみが少なくなる」なんて、とても馬鹿にされている様で怒りを覚えます。家庭の経済が厳しいから、ごみを減らそうとしているのです。こんな時期なぜごみ有料化なのでしょう。13日・20日に市民意見交換会をして、説明会をやったので、ハイ！有料化です。なんてことにはならないのでしょうかね。絶対、有料化には反対です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量にご協力いただき大変ありがとうございます。家庭ごみの減量化を進めるにあたっては、すでにご協力いただいている方はもちろんのこと、より多くの市民の方に家庭ごみの減量化にご協力いただく必要がございます。そのために、「広報、周知活動の強化」「分別収集の推進」「家庭ごみの有料化」「戸別収集への移行」の4つの手段により家庭ごみ減量化に関する取り組みを進めてまいりたいと考えております。現在行っているごみの減量への取り

		<p>組みは今後ますます重要になってまいりますので引き続きご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。また、家庭ごみの有料化の実施にあたりましては、今回実施した市民意見交換会だけではなく、今後も自治会やごみボックス単位などで説明の機会を設けさせていただき、実施時期等も含め引き続き検討してまいります。</p>
11	<p>ゴミの分別には、とても気をつかい、がんばってやっています。年金ぐらしで、毎日暮らしているのがせいっぱいなのに、これ以上の負担はとても出来ません。この問題は、まわりの人は知らない人もたくさんいます。なぜ有料化なのか財政効果は本当にあるのか、もっときちんとした計画を示すべきです。抽速です。もう一度、考えてほしい。</p>	<p>・ごみの分別にご協力いただき大変ありがとうございます。家庭ごみの減量化を進めるにあたっては、すでにご協力いただいている方はもちろんのこと、より多くの市民の方に家庭ごみの減量化にご協力いただく必要がございます。そのために、「広報、周知活動の強化」「分別収集の推進」「家庭ごみの有料化」「戸別収集への移行」の4つの手段により家庭ごみ減量化に関する取り組みを進めてまいりたいと考えております。現在行っているごみの減量への取り組みは今後ますます重要になってまいりますので引き続きご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。市内4箇所において、10月13日と20日に開催した市民意見交換会でいただいたご意見や、今回のパブリックコメントにお寄せいただいたご意見、その他今後個別に開催させていただき説明会等で頂戴するご意見を参考にさせていただき、実施時期等も含め引き続き検討してまいります。</p>
12	<p>グリーンボックスがあるおかげで、カラスの害を含めて町中に生ゴミが散らかっていることがほとんどありません。住民にとってとても良いシステムです。何故にポリ袋を市民負担で買ってまでゴミ回収方法を変更するのか、全く理解できません。それによって市に収益が入るなどは論外です。</p>	<p>・グリーンボックスについては、鳥獣被害を防止するといった観点から有効であるというご意見を頂戴しております。しかし、一方では誰でもいつでも捨てられることから不法投棄の温床となる可能性もあり、近隣住民の方が害虫や臭い、騒音等多くの被害を受けていらっしゃる地域もございます。また市内にはごみボックスを設置する清掃施設がない地域もあり、路上に設置しているボックスについては交通安全上の問題等から撤去を検討する必要があります。現在、ボックスによる収集を採用している市は多摩26市中東久留米市のみとなっております。また23区においてもボックス収集は採用していません。すでに豊富な実績があることから東久留米市においても戸別収集の実施は可能と考えております。カラス等鳥獣被害を防止するための方策についてはこれら先行市の事例を参考にし、市民の皆様のご意見を頂戴しながら引き続き検討を進めてまいります。</p>
13	<p>この時勢にまたもや公共料金の値上げとはなぜか！！市民の努力でゴミ分別や減量化に協力している姿を市長や市執行部はどう見ているのか！！もっと行政に真面目に取り組め！！有料化反対！！公約やぶりの市長は退陣しろ！！</p>	<p>・ごみの分別や減量化にご協力いただきありがとうございます。家庭ごみの減量化を進めるにあたっては、すでにご協力いただいている方はもちろんのこと、より多くの市民の方に家庭ごみの減量化にご協力いただく必要がございます。そのために、「広報、周知活動の強化」「分別収集の推進」「家庭ごみの有料化」「戸別収集への移行」の4つの手段により家庭ごみ減量化に関する取り組みを進めてまいりたいと考えております。現在行っているごみの減量への取り組みは今後ますます重要になってまいりますので引き続きご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。</p>
14	<p>日ごろのごみ対策の活動に感謝するものです。東久留米はごみの減量に努力しリサイクルを促進し最終処分場への搬入はしていないと聞いていました。そこでさらに分別やリサイクルゴミの有効活用にむけたとりくみが大切と思います。原発事故によってさらにごみはもやすだけでなく何</p>	<p>・循環型社会の形成にあたっては、リサイクルの有効活用も重要な要素となりますが、まずはごみを出さない取り組みが求められております。</p>

	<p>か活用する方法はないかというおもいを強めています。循環型社会に市民（国民）として目をむけていかなければ将来にわたって大変なゴミ社会になるのではないのでしょうか。有料化の前に市民への働きかけも強め、都にも働きかけ、国にも働きかけ、もっと市としても研究を進めてほしいと思います。とりあえず生ごみの有効活用とか・・・</p>	<p>引き続きごみの減量にご協力いただきますよう よろしくお願ひします。なお、生ごみについては、生ごみを堆肥化する生ごみ減量化機器をご購入いただいた方に購入費の一部を助成しております。来年度も引き続き普及活動を検討してまいります。また生ごみの分別収集や処理後の堆肥の分別収集にきましては、先行市の事例調査、研究を進め、「家庭ごみ有料化に向けた実施計画（素案）」にて、4つの手段として述べさせていただいた「分別収集の推進」のなかで検討を進めてまいります。</p>
15	<p>回収される日数が少なくなるのは大変こまります。又、かえって不法投棄が増えるのではないのでしょうか？グリーンBOXのおかげで市内はきれいな町だと思います。アパートなどの集合住宅では管理をきちんとしないとカラスなどで余計にちらかると思います。消費税も上がり、これ以上家計から支出を増やすことはやめてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分別収集の推進や収集方式の変更により大きな影響が生じないと思われる範囲で回収日の減少を検討しております。他自治体の実績を踏まえ、また市民の皆様のご意見を頂戴しながら、引き続き検討を進めてまいります。 ・ごみの減量化と合わせて環境美化への取り組みを継続してまいります。なお、戸建住宅、集合住宅等に関わらず鳥獣防止用ネットの使用等により対策を講じていただきますようよろしくお願ひします。
16	<p>素案から、主にゴミ減量の目的のために家庭ゴミの有料化・戸別収集を実施すると主張していると読めるが、既に有料化・戸別収集を実施しながら1人1日あたりのゴミ量が現在の東久留米市よりも多い多摩の自治体が武蔵野市・福生市など多数存在している。生活水準により決まるそれ以上減らないゴミ量があり、現在の東久留米市の状況はそれに達しているのではないか。有料化等によりゴミ量が2割減と試算する根拠を具体的に示さない限り、本実施計画の目的と手段の関連性に疑問を抱かざるを得ない。</p> <p>さらに有料化に関して、有料化によりその分住民税が減るなら賛成の余地もあろうが、戸別収集によるコストの上昇が収入増を上回っている。まったくもって非経済的であり、新施策の導入にあたってコスト意識が足りない。</p> <p>ゴミ減量が目的ならば、植木剪定材や落ち葉、さらには生ゴミを別途回収し、堆肥化して希望する市民に配布してはどうだろうか。先進的な取り組みを考えて欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩地域ですでに家庭ごみの有料化を実施している19市が有料化の対象としている可燃ごみと不燃ごみの一人一日当たりの排出量において、当市は26市中18位（平成23年度実績）となっております。当市より多くのごみを排出している8団体のうち4団体は有料化未実施団体となっております。したがって当市よりも多くのごみを排出している有料化実施団体は19市中3市でございます。有料化を実施している16市においては東久留米市よりもごみの減量化が進んでいることから、家庭ごみの有料化はごみの減量化の有効な手段であると考えております。 ・燃やせるごみと燃やせないごみの排出量について2割削減の目標を設定しております。目的はごみの減量化であり、これを実現するための手段として家庭ごみの有料化による排出抑制、戸別収集の導入による排出抑制と分別方法の周知徹底、分別収集の推進による新たな資源回収品目の設定、広報周知活動の強化による減量活動の広がり等、総合的に取り組みを進めることとしております。また先行市の事例等も参考に2割削減とする試算を行っております。生活水準により排出するごみ量が異なるという考え方もございますが、他市との比較等から東久留米市における更なる減量化は可能だと考えており、引き続き減量化に取り組む必要があると考えております。今後ごみの減量化にご協力いただきますようよろしくお願ひします。 ・ボックス収集は便利な側面もありますが、不法投棄の温床となることを一とし、解決をすべき課題も多く有していることから、市民の皆様のご意見を頂戴しながら、戸別収集への移行に取り組む必要があると考えております。 ・剪定枝については分別収集を行っておりますので、より多くの方にご利用いただけるよう、一層の周知に努めてまいります。落ち葉や生ごみの分別収集、堆肥の配布につきましては、先行市の事例調査、研究を進め、「家庭ごみ有料化に向けた実施計画（素案）」にて、4つの手段とし

		て述べさせていただいた「分別収集の推進」のなかで検討を進めてまいります。
17	<p>ごみ有料化、大賛成です。むしろ遅きに失した感があります。</p> <p>行政がゴミを無料で処理する、ということは過去の遺物であり、地球環境の保全が世界的に求められている現在、「ごみ処理はただ」という意識を転換し、地球環境に負荷を与える行為は代償を伴う、という意識を市民全員が持たなければなりません。先進国ではそれが常識です。加えて、ごみリサイクルの高度化により、リサイクルに係る経費は増大しており、このリサイクル負担も排出者としての市民が応分の負担をするべきです。できるだけ早期に有料化を実施すべきです。</p> <p>ただし、有料化は個別収集とセットでなければ意味がありません。今まで通りのボックス方式のまま有料化を実施すれば、ごみの不法投棄の増大を招き、そのトラブルが市行政に余分な負担を与えます。</p> <p>また、ごみのプライバシーを保護する必要はありません。ごみは市のルールに従って適法に出し、「自分が出したごみ」はそれが収集されるまで、自分が責任をもって管理する責任があります。経費はかかりますが、個別収集と有料化は必ずセットで実施してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化・資源化の一層の推進を図るための有効な手段として、家庭ごみの有料化が必要であると考えております。また、ボックス収集から戸別収集への移行についても検討を進めております。
18	<p>ゴミ有料化は反対です。燃やせないごみは4週に1回とのことですが、ベランダに置いてゆくには水道の水できれいにすすがなければいけません。水道代がかさみます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ほぼ全ての排出物において水洗いが必要な容器包装プラスチックについては現状と同じ週に1回収集する方向で検討しております。その他水洗いが必要な不燃ごみに関する水道代の件につきましては、貴重なご意見として頂戴いたします。
19	<p>ゴミ有料化は財政困難が元因と聞きましたが東久留米市の決算では7億円の黒字であると聞きました。と、するとどうしてでしょう。有料化の理由になりますか。市民が日々身近に受止めているゴミ問題は慎重に徹ていした対議を市民と共にして頂きたいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家庭ごみを有料化する目的はごみの減量化を進めることにございます。ごみ有料化により市の歳入が大幅に増えることはございませぬ。市民の皆様のご意見を頂戴しながら、引き続き検討を進めてまいります。
20	<p>ごみ有料化について反対します。市はごみ減量を目的に市指定のごみ袋10につき2円の値をつけて、市民に買わせるとのこと。市販のごみ袋は、300入りで15～20円程度です。市指定だと1枚60円(300)となり、4倍の値段になり大変高いこととなります。年間200万円以下の働く貧困層は、働く人全体の1/4を占めているといわれ、又、1ヶ月8万円以下でくらす年金生活者も沢山います。国保保険料、介護保険料、各種税金、電気代等々、何もかも値上げされ生活は大変です。こうした市民のくらしをよく考えてください。年850万円程度の黒字を出すために、市民のくらしを圧迫するのは止めて下さい。市民のくらしを守りながら、市民といっしょにごみ減量に努力する市政をのぞみます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家庭ごみを有料化する目的はごみの減量化を進めることにございます。ごみ有料化により市の歳入が大幅に増えることはございませぬ。ごみ袋の料金設定にあたりましては、他市での実績等を参考に検討しております。家庭ごみの有料化にあたりましては、市民の皆様へ新たなご負担をお願いすることとなります。つきましては市民意見交換会や本パブリックコメントだけではなく、引き続き説明会等を開催し、市民の皆様にご説明させていただき、またご意見を頂戴しながら検討を進めてまいります。
21	<p>ごみ有料化には反対です。</p> <p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ袋を買うために経済的負担が大きくなる。 環境が悪くなる。私の住宅では現在ボックスではなく、ネットを使用しているが、からすがごみを荒らして、その後始末をするのが大変です。からすの害が市内中で見られるようになり町が汚れます。からす対策にお金がかかるようになります。 有料化している新座市、小金井市より転居してきた方も同じ意見です。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭ごみの有料化にあたりましては、市民の皆様へ新たなご負担をお願いすることとなります。つきましては市民意見交換会や本パブリックコメントだけではなく、引き続き説明会等を開催し、市民の皆様にご説明させていただき、またご意見を頂戴しながら検討を進めてまいります。 グリーンボックスについては、鳥獣被害を防止するといった観点から有効であるというご意見を頂戴しております。一方では誰でもいつでも捨てられることから不法投棄の温床となる可能性もあり、近隣住民の方が害虫や臭い、騒音等多くの被害を受けていらっしゃる地域もございませぬ。また市内にはごみボックスを設置する清掃施設がない地域もあり、路上に設置しているボックスについては交通安全上の問題等から撤去を検討する必要があります。現在、ボックスによる収集を採用している市は多摩26市中東久留米市のみとなっております。また23区においてもボックス収集は採用してございませぬ。すでに豊富な実績があることから東久留米市においても戸別収集の実施は可能と考えております。カラス等鳥獣被害を防止するための方策についてはこれら先行市の事例を参考にし、市民

		<p>の皆様のご意見を頂戴しながら引き続き検討を進めてまいります。</p>
22	<p>今回の「家庭ごみ有料化に向けた実施計画」は、ごみ減量に向けて、有料化だけに留まらず、グリーン等ボックスの廃止による戸別収集方式の導入までの踏み込んだ内容となっており、計画の方向性としては大賛成いたします。来年11月の実施に向けて計画を推進していただくことを期待するとともに、計画が実行された際には市民として施策にきょうりよくしていきたいと思っております。</p> <p>一点懸念事項がありますので意見を述べさせていただきます。グリーンボックス等が路上ではなく住宅の一角に設置されている場合、ボックスが撤去された後は跡地が空地となってしまう、不法投棄等が継続される懸念があります。跡地については、隣接地権者への譲渡、緑化等、空地のまま残存しないような方策のご検討をお願いいたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家庭ごみ有料化の実施時期等につきましては、市民意見交換会や本パブリックコメント等で頂戴したご意見を参考にし、引き続き検討を進めてまいります。 ボックス撤去後の市が所有するボックス置き場の取り扱いについては地域ごとの特性等を考慮しながら検討を行う必要があるため、近接住民の方のご意見等を頂戴しながら検討していきたいと考えております。なお、不法投棄対策については必要な対策を講じてまいります。
23	<p>有料化の前に生ゴミの堆肥化の検討（実現）をお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生ゴミの堆肥化については、現在、機器購入費の助成を行っております。今後も普及活動に努めてまいります。また生ゴミの分別収集等につきましては、先行市の事例調査、研究を進め、「家庭ごみ有料化に向けた実施計画（素案）」にて、4つの手段として述べさせていただいた「分別収集の推進」のなかで検討を進めてまいります。
24	<p>『1』ごみ有料化は増税である。《ごみ有料化市民の負担、2億4千700万円》(素案より)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私たち市民は税金を払って、税金で教育、福祉、ごみ処理などを行っている。 2. 「不公平」だからごみ有料化をするというなら教育も福祉も有料化になる。 3. 素案によると、ごみ有料化は「2千円/年1人」である。間違いなくこれは増税である。 <p>『2』「ごみ減量は必要」、しなければならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「素案」には環境問題への対応として、「限りある資源の有効利用」のためにごみ減量の推進が示されている。「買って、直ぐ捨てるな」、「必要の無いものを買うな」、「分別して、燃やすごみを減らす」、これが必要。環境問題として、柳泉園のごみ焼却を止めるべき、焼却量を減らすべき。 <p>『3』「ごみ焼却は環境破壊」 850℃で燃やす焼却炉は化学反応炉、有害化学物質を放出。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境を守るために、焼却ごみの減量、ごみ焼却を止めるべき。 <ol style="list-style-type: none"> ①焼却量を減らすために減量する。 ②焼却量を減らすために分別する。 ③生ごみ焼却は止めて、生ごみ処理方式の導入を計る。 <p>『4』「ごみ有料化」で減量はできない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ごみ有料化した市でごみ排出量が平均値より高い、有料化していない市で排出量が低い。 2. 有料化のシステムだけでは「ごみ減量」は達成できない。ごみ減量は市民と行政の努力が必要。 3. ごみ減量は、「ごみ焼却、環境破壊」からの脱却のためにしなければならない。 <p>『5』ごみ有料化の素案に書かれていること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市民にゴミ袋を買わせて、ごみ減量をさせ、ごみ焼却費用を少なくする。 2. ごみ減量のため「市役所はこう働く」の考えが書かれてない。 <p>『6』『諸物価値上げ 家計に負担』 “ごみ有料化はすべきでない”</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ごみ袋を買わないで、ごみ減量をしよう。 2. 環境税の導入、厚生年金保険料値上げ、食料品値上げが押し寄せ、消費税アップ、そして雇用不安、生活苦の時代。こんな時に一世帯「5千円/年」のごみ費用は出せない。市民負担を止めにして、ごみ減量に取組もう。ごみ減量をすればごみ処理費は減る、減らしたごみ処理費は街の緑化に使おう。 <p>「東久留米市ごみ有料化」に反対する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家庭ごみの有料化にあたりましては、市民の皆様新たなご負担をお願いすることとなります。つきましては市民意見交換会や本パブリックコメントだけではなく、引き続き説明会等を開催し、市民の皆様にご説明させていただき、またご意見を頂戴しながら検討を進めてまいります。 ごみの減量化が進めば柳泉園組合における焼却量の削減も進むものと考えております。古紙や古布等のリサイクルの推進、生ごみ減量化機器の普及、再資源化が可能なものに関する分別品目の収集等に努めてまいります。 有害化学物質については適切に処理を行っております。詳細につきましては大変お手数をおかけしますが柳泉園組合にお問い合わせください。 すでに26市中19市という半数以上の市においてごみの有料化が実施されているため、有料化実施団体であっても平均値より多くのごみを排出することは十分にあり得ると考えます。ごみ減量化を進めるためには全ての市民の皆様にご協力いただくことが最も重要と考えております。引き続きご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。なお、ごみの減量化にあたりましては、他市の事例なども参考にし、有料化だけではなく、広報、周知活動の強化、分別収集の推進、戸別収集の実施等と合わせて総合的に取り組みを進める必要があると考えております。 市としましては広報、周知活動の強化により正しい分別やごみ減量の重要性を広く周知させていただくとともに、分別収集の推進により再資源化できるものはごみにしない取り組み等に努めてまいります。 家庭ごみの有料化によらずに同様の効果が得られる方策について情報収集に努めておりますが、現在のところ見つからない状況でございます。
25	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当地域(浅間町3丁目)は、埼玉県新座市と道路を接して隣接しており、小規模アパートが多い新座市の住民が通りすがりにごみを不法投棄する事例が多い。それでもグリーンボックスに入れていく場合はまだよいが、近くに不法投棄する例が後を断たない。そのため、町的美観を著しく損なっている状況。 2. これが、有料化に伴い、グリーンボックスを廃止することになれば、悪臭と不潔で、ごみ集 	<ul style="list-style-type: none"> グリーンボックスについては本来、排出できる曜日や時間、利用者も定められておりますが、常設してあることからいつでも誰でも排出できてしまう状況でございます。このような事情から不法投棄の原因になっている現実もありま

	<p>積所付近の住民は迷惑をこうむることになる。住民のマナーが十分よければ問題ないと思うが、現状では理想通りに行かないのが実情。</p> <p>3. 生ごみ排出を抑制するための有料化であれば、他に方法が考えられないであろうか？例えば、ごみ排出の限度を設け、それを超えて排出した集積所は罰金的な課徴金を連帯で払わせるなど。</p> <p>4. 有料化に伴い徴収する課徴金収入は、ごみ対策費に使用されると思うが、特別会計として、収入・支出を明らかにして公表すべきと思う。</p> <p>5. 私案としては、ごみ対策税(仮称)を条例制定して、一律に徴収し、グリーンボックスは従来通り使用して、街の美観を保ちたい。</p>	<p>す。グリーンボックスを撤去し、ごみ集積所を閉鎖することにより一定の改善が図れると考えております。引き続き調査しながら、検討してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他市事例等を調査したところ有料ごみ袋を利用して排出者ごとに排出量により課金させていただく方法を採用している自治体が現在のところ多い状況です。特別会計の創設については調査させていただきます。
26	<p>家庭ごみ有料化に反対します。</p> <p>今回、市が提案している有料化の理由は、ごみの減量をすすめるためとあります。しかし、有料化する前に、減量の方策がまだあるのではないのでしょうか。行政としての創意ある提案が見られず、安易な有料化の方向が出され、有料化が目的となっている逆さまな計画であることから、有料化に反対します。</p> <p>私は、東久留米に引っ越してきて、まずごみが非常に少ないのに驚きました。それは市民が地道に手間と時間をかけて分別回収に取り組んだ結果です。一人一人のごみを減らそう、環境を守ろうという意思と努力が大きな成果をあげてきました。もし有料化になれば、この財産は簡単につぶされてしまうでしょう。</p> <p>また、燃えるごみの大半は野菜くずと言われています。以前、私もEM菌とコンポストで堆肥化しずいぶんとごみの量を減らしました。市の補助金も活用し取り組みましたが、どんどんできる堆肥の埋め場所に困ってやめざるをえませんでした。この課題は解決できないのでしょうか。あるいは、他に誰でもができる簡便で安価な方法はないのでしょうか。生ゴミ処理ができればごみは激減します。</p> <p>ごみは我々が生きている限り、無くならない永遠の問題です。持続可能な解決策をみんなで考えることが重要だと思います。他市になり先進的な方法を市行政が中心になって進めていただきたい。簡単に有料化とお金で解決するようなことはしないで下さい。小手先の有料化では、ごみ減量は不可能です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭ごみ有料化に向けた実施計画（素案）」においては、家庭ごみの減量化という目的を実現するために「広報、周知活動の強化」「分別収集の推進」「家庭ごみ有料化の実施」「戸別収集の実施」の4つの手段により取り組みを進めることとしております。頂戴したご意見について検討させていただきます。 生ごみを減らすための堆肥化については、マンション等集合住宅において、処理後の堆肥の用途が課題となっていることも事実でございます。生ごみの分別収集や処理後の堆肥の分別収集につきましては、先行市の事例調査、研究を進め、「家庭ごみ有料化に向けた実施計画（素案）」にて、4つの手段として述べさせていただいた「分別収集の推進」のなかで検討を進めてまいります。
27	<p>1. ごみ有料化は新しい増税です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育も福祉もごみ料金も税金で行ってきています。 2. ごみ処理を有料化にすれば教育も福祉も医療も有料化することになります。 3. ごみ有料化の税金反対です。 <p>2. ごみ減量は必要です。していかなければなりません。</p> <p>環境問題への対応として、「限りある資源の有効利用」のためにごみ減量の推進が必要、と書かれています。しかし、環境問題への対応といっているのに、「ごみ処理」で大量の「焼却」を行っています。ごみ焼却をすればダイオキシンが発生します。ベトナム戦争のときの枯葉剤は忘れられません。</p> <p>3. 私たちはごみ焼却、環境破壊から逃れるためにどうするか、です。</p> <p>環境を守るために、ごみ焼却を止める。焼却ごみの減量に取組まなければならないでしょう。ごみの分別をすべきです。</p> <p>4. ごみ減量を市民と行政が一緒になってやっていくことです。</p> <p>ごみ減量は市民と行政の努力が必要です。ごみ減量、していきましょう。</p> <p>5. これから諸物価値上げです。家計への負担が大きいです。</p> <p>消費税アップ、環境税の導入、厚生年金保険料値上げ、食料品値上げが押し寄せてきます。こんな時にごみ費用は出せません。</p> <p>ごみ有料化反対です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家庭ごみの有料化にあたりましては、市民の皆様にならぬご負担をお願いすることとなります。つきましては市民意見交換会や本パブリックコメントだけではなく、引き続き説明会等を開催し、市民の皆様にご説明させていただき、またご意見を頂戴しながら検討を進めてまいります。 ごみの減量化が進めば柳泉園組合における焼却量の削減も進むものと考えております。古紙や古布等のリサイクルの推進、生ごみ減量化機器の普及、再資源化が可能なものに関する分別品目の収集等に努めてまいります。 市としましては広報、周知活動の強化により正しい分別やごみ減量の重要性を広く周知させていただくとともに、分別収集の推進により再資源化できるものはごみにしない取り組み等に努めてまいります。 ごみの減量方法について、市民の皆様と市がより密接に関わりながら考えていけるよう検討してまいります。引き続きごみの減量化にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。
28	<p>1. 環境問題としてのごみ焼却</p> <p>「ごみ処理」で大量の「焼却」を行っています。ごみ焼却をすればダイオキシンが発生します。ベトナム戦争のときの枯葉剤は、今も沖縄で、アメリカで続いています。柳泉園組合でのごみ焼却、365日24時間、監視しないでダイオキシン大丈夫なのですか？有害化学物質の放出は水俣病と同じ構図です。止めるべきです。</p> <p>2. ごみ焼却、環境破壊から逃れるために。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 環境を守るためごみ「焼却を止める」を目標にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 柳泉園組合においては、ダイオキシンをはじめ、有害物質等の測定を定期的実施し、すべて法定環境基準値内の数値となっております。尚、詳細につきましては大変お手数をおかけしますが柳泉園組合にお問い合わせください。 ごみの減量化を進める有効な手段の一つとして家庭ごみ有料化の実施を検討しております。また、広報、周知活動の強化、分別収集の推進、

	<p>2) 焼却ごみの減量に取り組む。</p> <p>3. ごみ減量、していかなければならない。 今、ごみ焼却量を減らすこと、これが求められています。このためにもごみ減量をしなければなりません。</p> <p>4. 焼却ごみの減量 (ア) 生ごみは焼却しないで土に返す処理に替える。そのシステムを作る。 (イ) 容器包装プラスチックの分別をしっかりとる。容器包装プラスチックは処理費が上乗せされている。</p> <p>5. ごみ有料化は新しい増税。 1) 教育も福祉もごみ処理も税金で行っている。なぜごみ有料化なのか？ 2) ごみ有料化は反対です。</p> <p>6. ごみ減量をして柳泉園や最終処分場の負担金を減らしても、有料化で収集費を値上げすれば市民の負担は変わらない。有料化を止め、ごみ減量をしてごみ処理費を減らせば、教育や福祉に使える。</p> <p>7. 諸物価値上げ、家計への負担大。消費税アップ。環境税導入、厚生年金保険料値上げ、食料品値上げ、こんな時に費用は出せません。ごみ有料化、反対です。</p>	<p>戸別収集の実施の4つの手段によりごみの減量化に取り組んでまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみを土に返す処理については、生ごみの堆肥化として、生ごみ処理器の機器購入費の助成を行っておりますので、今後も普及活動に努めてまいります。また生ごみの分別収集にきましては、先行市の事例調査、研究を進め、「家庭ごみ有料化に向けた実施計画（素案）」にて、4つの手段として述べさせていただいた「分別収集の推進」のなかで検討を進めてまいります。 ・容器包装プラスチックをはじめとするごみの分別については、今後も広報やチラシ等を使用して、市民の皆様が分別に取り組んでいただけるよう、よりわかり易い方法を検討してまいります。 ・家庭ごみの有料化にあたりましては、市民の皆様新たなご負担をお願いすることとなります。つきましては市民意見交換会や本パブリックコメントだけではなく、引き続き説明会等を開催し、市民の皆様にご説明させていただき、またご意見を頂戴しながら検討を進めてまいります。 ・家庭ごみの有料化によらずに同様の効果が得られる方策について情報収集に努めておりますが、現在のところ見つかっていない状況でございます。
29	<p>私は20日の東部地域センターの集会に行き、2列目に座り意見を言いましたが、いい足りないことが沢山あるので、ぜひ、集会の最後に言われていたように、ワーキンググループというか、市民を交えた検討会を作ってください。お願いします。</p> <p>東久留米市では20年前に、グリーンボックスのほかに、オレンジボックスがあり、不燃物とプラとビンと缶が同じオレンジボックスで回収されていて、ボックスがあふれていることがよくありました。</p> <p>オレンジボックスを廃止し、資源の分別回収に移行するときに私もゴミ行政に少なからず関わりました。 だから、ボックスの廃止とゴミ有料化には私は基本的には賛成です。</p> <p>が、その目的はあくまでもごみ減量化とリサイクルの推進で、有料化とボックスの廃止はその手段ですから、今回の素案には背けないできないところがあると思います。</p> <p>個人的には有料化よりも、グリーンボックスも廃止しなくてはダメだろうと思います。 同じ頃にボックスを導入した八王子でも日野市でも府中市でも確かボックス収集は今はやめています。ゴミ有料化とは別で、「いつでも」「どんなものでも、何でも」捨てるられるから減量化には逆行するのと、街中の交通の障害になるからです。</p> <p>ボックスを先にやめた市についても言及すればよかったと思います。市民同士の意見交換型の席なら、私はかなり行政側の代弁をしたかもしれません。さすがに最初から「有料化に賛成」と言うのは誤解されそうで怖いですが、ボックスの廃止については、過去何年かおきに設けられたごみ減量推進審議会に何回かに私も参加しているので、思うところが沢山あります。</p> <p>市内には他市からの転入者もいらして、以前住んでいた自治体でゴミの有料を経験している方のなかには、現在の東久留米市の有料化への移行に「反対」する意見には、単純には同意しない人も少なからずいます。</p> <p>小金井市でも05年にゴミ有料化のときに、「有料化はしょうがない」という市民の受け止められ方をされました。東久留米では、先にボックス収集について話し合うのが先だと思います。できれば有料化とボックス廃止問題は分けてほしいのが私の希望です。</p> <p>有料化は見送り、先にボックスを廃止してみると、それだけでもごみ減量の効果があると思うのですが、どうでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化を進める手段として家庭ごみの有料化とボックス収集の廃止を合わせて検討しておりますが、ご指摘の通りボックス収集の廃止のみを先行して行う方法も検討すべきと考えます。特に路上に設置しているボックスについては通行上の妨げになることもあり得るため、安全面からも早急な対応が必要と考えております。 ・地域ごとに状況等も異なることから、市民の皆様にご協力いただき、小さなグループ単位での説明会等を開催したいと考えております。 ・引き続き他市の事例の調査・検討等を進め、皆様から頂いたご意見なども参考に一定のご理解がいただける有料化の実施計画の策定を進めてまいりたいと考えております。 ・作成していただいた冊子と同様のボックス収集における課題は現在も継続しております。貼り紙や広報などにより周知を図っており、近隣住民の方にご協力いただき、改善が図られた例もございしますが、人通りの多い地域等では効果が得られない場合もございします。小グループ単位での説明会等では現状についてもお話しさせていただきたいと考えております。なお、戸別収集への移行についてはご指摘の通り人手も時間もかかることとなるため、ボックス撤去後の収集方法については慎重な検討が必要であり、現在のところ全ての排出者の方に減量に取り組んでいただくためには戸別収集の実施が必要と考えております。

	<p>ずっと市内に住んでいる人や減量にがんばってきた人ほど、反対する面もありますが、新システムの導入に反対する人ほど、納得すると、よき理解者に転じる可能性は高いといえます。(スクールカウンセラーがそんな感じでした)</p> <p>20日の東部地域センターの説明会では「本当に有料化が減量化につながるのか、先行する他市の例での説明の資料が足りない」ことを指摘する意見もありました。</p> <p>その点には私も同意ですし、今回はあくまで素案で、環境課の主査の方が今後もワーキンググループを開きたいといっているの、住民の使い勝手を考える検討会を、これはぜひ開いてほしい。</p> <p>「ボックス収集をやめる代わりに戸別収集にする」という政策はいただけません。</p> <p>「ボックス収集をやめることには反対が多いだろうから、一戸ごとに収集という「アメ」でなんとか認めてもらおう」という感じがします。</p> <p>一戸一戸の家の前に出されたゴミ袋を清掃車と収集の人が回収に回るのは、収集する人の人手も時間もかかるやり方で、つまり金もかかるのは素人にもわかる。</p> <p>ボックスに代わる住民サービスとして、これくらいしなければ住民にボックス廃止が受け入れられないと、行政は判断しているのかと思いますが、氷川台農園の近くの地域では、ボックスの場所を年毎に各家で持ち回りにする話し合いをして、うまくいっているところもあります。</p> <p>今後は本当に、市民を交えた検討会がちゃんと開かれることを望みます。</p> <p>市が今回出した形では、「反対」せざるをえないです。色々な点の不備なまま、こんな形で実施されては困る。小型廃家電の回収場所も地域センターとかで常時引取りを行うようなことを言われましたが、そこら辺がどう実現可能なのかについても案のような段階らしいので、もっと住民の新しい仕組みの「使い勝手」を交えた話し合いをしていかなくてはならないはず。</p> <p>また、乳幼児と子どもの衣類おもちゃのリサイクル品の引き取り場所は、福祉作業所のやっているリサイクル店も実際にありますが、問題も多い(悪く言えば殿様商売で、営業する気が欠けている)ので、外部からはたらきかけ、コーディネートできるチームを作ってリサイクルにあたっていくようにできないかと思えます。</p> <p>小山小PTAは1回の集団回収で、5トン回収してありますが、資源回収のうまくまわっている例を公表するなどして事例を挙げて説明しないと、いくら報奨金が入るから集団回収をやりたいといわれても普通は動きません。PTA役員自治会役員の引き受けても苦勞する現在、これ以上は集団回収はひろがりにくいと思えます。</p> <p>1992年当時は、清掃課の実際にゴミの収集に当たっている職員の方々と生協の友人たちを交えて話し合いもし、このような冊子も作りました。</p> <p>↓</p> <p>今は、このような問題はなくなっているのでしょうか。</p> <p>実際に回収にあっている方の話を伺うと、ボックスは便利でいいからと廃止に反対している方の意見も変化してくるはずですよ。ぜひお願いします。</p> <p>●URLを削除しています(東久留米市:追記)</p>	
30	<p>(1) 有料化を進める理由とされた日の出村の最終処分場の延命問題の緊急性が薄れ、市のごみ減量も着実に進む状況で、あえて有料化を行う理由は「公平な負担制度」、「市民の意識改革」「市民全員で取り組む」事により、減量化、資源のリサイクルをいっそう推進するためとしています。</p> <p>(2) 減量化・資源のリサイクルでは、「市民の協力」と「行政への信頼」が一番大事ですが、有料化は、それに逆行する問題を含みます。① 国が復興税を新設、消費税増税を企図するなど新たな負担増を求めると、市までが「有料化」で負担を増やすのでは「行政への信頼」は得られません。② 多くの住民がごみの減量化、資源化に協力しています。私も自治会の世話役をやっていますが、住民はお互いにごみの捨て方に注意し、ひどい場合には分別をやり直すこともあります。遊歩道の落ち葉や長期不在の隣家の問題、カラス被害や公園での心ないゴミ捨てに憤りながらも清掃する人も多いのです。こうした市民の善意を集めてこそごみの減量化、リサイクルの推進、循環型の社会が展望できるのではないですか。「有料化」はこうした努力を評価しない愚策です。「負担の公平」と言いますが、落ち葉やさまざまな理由で飛散したごみを掃除する人々は、ポリ袋を自己負担したり、自らの家庭ごみとして処理しているのです。こうした善意者に新たな負担を強いて、どうして公平なのですか。地域コミュニティの連帯に水をさすだけです、地域コミュニティの連帯はごみ問題にとどまらず防災や防犯、行政への信頼に関わります。こうした視点での検</p>	<p>・環境美化にご協力いただきありがとうございます。家庭ごみ有料化の実施計画では、これまでご協力をいただいている落ち葉等の収集物については無料収集を考えており、これまで市民の皆様方に築き上げていただいた地域コミュニティ活動は継続していただけるように配慮してまいります。</p> <p>・「家庭ごみ有料化に向けた実施計画(素案)」においては、家庭ごみの減量化という目的を実現するために「広報、周知活動の強化」「分別収集の推進」「家庭ごみ有料化の実施」「戸別収集の実施」の4つの手段により取り組みを進めることとしております。先行市の事例等を参考にしながらこれらの取り組みによる効果を最大限引き出せるよう検討を進めてまいります。なお、ご指摘いただいた府中市における平成21年度の一人一日当たり5品目(可燃、不燃、資源、</p>

	<p>討を求めます。市長は審議会の有料化の答申に縛られず、広く市民の意見を聞くべきです。</p> <p>(3) 有料化によりコスト意識を持たせ「意識改革」という考えは、時代遅れで有効な施策とは思えません。実際、平成 21 年度に有料化した府中市では、22 年度は減少しましたが、23 年度には増加に転じ、現在、減量・リサイクルの大キャンペーン中です。東久留米市では、市民を賛否で分断してしまう「有料化」のような回り道をせず、ごみ問題・環境問題について行政と市民の率直な話し合いで合意して進めて貰いたいと思います。</p> <p>(4) 住民の間でごみ問題についての要望がたくさんあります。この際、行政が地域に入りこまめに対話し、要望を聞いて欲しいと思います。こうした取り組みにより、市民と行政の信頼感、一体感を醸成することが肝要だと考えます。</p>	<p>粗大、有害) の収集量は 640.3g であり、平成 23 年度の一人一日当たり 5 品目の収集量は 550.5g となっております(平成 22 年度の一人一日当たり 5 品目の収集量は 537.3g)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ問題については地域ごとに異なる課題が存在することから、今後も皆様からの意見を聞くことができるよう機会を設けてまいります。ご協力のほどよろしく申し上げます。
31	<p>家庭ごみの有料化、ダストボックスには反対です。</p> <p>家庭ごみの有料化は単なる税金の二重取りであり、ダストボックス廃止は市の景観や暮らしのクオリティを損なうと思うからです。</p> <p>普段東久留米市で暮らしていて、市からごみの減量化を呼びかる広報物や看板・イベントを見かけることはほとんどありません。毎年 4 月にごみの出し方のパンフが配布されるだけです。</p> <p>真剣に市民に減量化を訴えようという意気込みが全く感じられません。ごみの分別やごみが少なくなるような買い物の仕方・ごみの出し方のモラルの啓発に、市の行政は真剣に汗をかいたり知恵を絞っているようには見えません。</p> <p>市の財政は毎年 10 億円の赤字の中、無駄な補助金カットなどのスリム化も無いままです。今後も消費税をはじめとする税負担は増えていく一方です。子供を育てる世代は物資の購入が多くなるのでどうしてもごみも多くなります。そんな世代に今以上の負担をさせてもいいものなのでしょうか？ごみ問題を安易に有料化とすることで解決すべきではありません。</p> <p>またダストボックスの廃止は、カラスや猫などによるごみの散乱・悪臭を招き、自宅前にごみを置いていて風で飛ばされた時に散乱したごみを誰が片づけるのかという問題も発生します。ご近所同士で近隣を掃除しあうということも無くなってきました。収集の手間も今とは比べ物にならないくらい増大します。狭い道に入っていくために軽自動車・人手も多数必要になります。その収集の手間はコストとなって跳ね返り、今よりも 2.6 億円も余計にかかるということです。車から排出される二酸化炭素も増えてしまいます。</p> <p>税金と手間をこれだけかけてまで得られるものは何でしょうか？</p> <p>来年 1 月から「復興特別所得税」が今後 25 年 (!) にわたって負担が始まります。こんな時代ですからお金をかける方法ではなく、震災の時に市民が見せた節電への協力を今一度思い起こし、市長や市議会議員が市民に切実に訴えかける行動が必要なのではないのでしょうか。</p> <p>市民にもっと情報も提供していただきたいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現在はごみの減量化について周知を図るため、市広報において毎月 1 回、「ごみの行方」と題する連載を掲載しております。また雑紙を資源として排出していただくため、グリーンボックスに貼り紙をする、集団回収にご協力いただくためにチラシの配布等の周知活動をしております。イベントといたしましては 6 月に開催された環境フェスティバル、11 月に開催された市民まつりにおいて再資源化を進めることを目的として小型廃家電の実験回収を行っております。今後ご指摘いただきましたように一層の広報、周知活動に努めてまいります。 ダストボックスは便利である反面、一方では、設置個所の近くにお住いの方からは悪臭や騒音、害虫被害や不法投棄について多数のご意見をいただいている現実もあります。また、高齢化により自宅からダストボックスまでごみを出しに行くことが困難な方も増えております。路上に設置しているごみボックスへの対応等、慎重に検討していく必要があると考えております。
32	<p>[1] 「家庭ごみ有料化に向けた市民意見交換会」に対する意見</p> <p>東久留米市主催の「家庭ごみ有料化に向けた市民意見交換会」が 10 月 20 日に南部地区センターで行われた。市民意見交換会は市内で 4 回だけ行われ、所要時間は夫々 2 時間であった。この市民意見交換会の場で、開催回数「4 回は少ない」との市民意見があり、「これ以降、自治会単位などの規模の説明会は何回でも開く」とする市職員の説明があった、この説明で、4 回だけの市民意見交換会は今後の意見交換の基本であると考えられた。</p> <p>この中で、4 回の意見交換会から、次が浮上した。</p> <p>『1』 「市民意見交換会」では市民の質問は 1 人、2～3 回と決められた。</p> <p>『2』 会で、「ごみ減量」は理解するが「ごみ有料化」は理解できないとする意見に対し、ごみ有料化は決定したのではないとする意見が職員からあった。が、職員の意見はアイマイで説明資料には「家庭ごみ有料化に向けた」、文字が明記されている。不信感が漂う。</p> <p>『3』 市民の質問に対して市職員の回答が明確でないときがあり、更に事実誤認の回答があった。市民の質問が制限されているため疑問は解消されないままであった。</p> <p>『4』 市長の回答の中で明らかに事実と異なる回答をし、事実と異なる回答を市長は押し通して会が終わった。会終了後、市民が資料を示し説明したとき、市長は前言を撤回した。</p> <p>「市民意見交換会」の時間は 2 時間、市民の質問は 1 人、2～3 回、これでは、市民が納得できる、理解できる会ではないことが分かった。</p> <p>市民意見交換会は市民が納得できる会として構成、作り上げなければならない。時間を使って、問題を整理して、積み上げていく手法を使って意見の交換をしていかなければならない。このま</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民意見交換会のご参加いただきありがとうございます。今後も引き続き市民の皆様のご意見を直接伺う場を設けさせていただき予定でございます。自治会単位、あるいはより小規模なグループ単位等、ご要望に応じて対応させていただきます。小規模グループでの開催等の場合には質問回数等の制約も少なくなるかと思われまます。ご協力のほどよろしく申し上げます。 家庭ごみの有料化にあたりましては、市民の皆様新たなご負担をお願いすることとなります。つきましては市民意見交換会や本パブリックコメントだけではなく、引き続き説明会等を開催し、市民の皆様にご説明させていただき、またご意見を頂戴しながら検討を進めてまいります。 ごみの減量化が進めば柳泉園組合における焼却量の削減も進むものと考えております。古紙や古布等のリサイクルの推進、生ごみ減量化機器の普及、再資源化が可能なものに関する分別品目の収集等に努めてまいります。 多摩地域においてはすでに 26 市中 19 市という半数以上の市においてごみの有料化が実施されているため、有料化実施団体であっても平均値より多くのごみを排出することは十分にあり

まであってはならないと考える。以上、問題を挙げておく。

〔2〕「東久留米市家庭ごみ有料化に向けた実施計画（素案）に対する」意見

『1』ごみ有料化は増税である。《ごみ有料化市民の負担、2億4千700万円》（素案より）

1. 私たち市民は税金を払っている。このことから、教育も福祉もごみ処理も税金で行ってきている、これからもそうするのが当然である。
2. ごみ有料化の理由に「不公平」をあげている。だが、教育も福祉もどれも不公平であり、不公平は当たり前のこと、これは理由にできない。ごみ処理を有料化にすれば、公平とはいえない教育も福祉も有料化しなければならない。これは有り得ないことだ。
3. （素案）によるとごみ有料にすれば年1人2千円である。間違いなくこれは増税である。

『2』ごみ減量は必要、していかなければならない。

1. 「素案」には環境問題への対応として、「限りある資源の有効利用」のためにごみ減量の推進、を提示している。しかし、環境問題としていながら「ごみ処理」で大量の「焼却」を行っている。明らかに、「ごみ焼却＝環境破壊」を進行させている。※1、※2、※3

だが、「素案」には「ごみ焼却＝環境破壊」の事実を示してない。

『3』ごみ焼却による環境破壊から脱却しなければならない。

1. 環境を守るため、ごみ焼却を止めなければならない。焼却ごみを減量しなければならない。
 - ①焼却量を減らすために減量する。
 - ②焼却量を減らすために分別する。
 - ③生ごみ焼却は止めて、生ごみ処理方式の導入を計る。

『4』「ごみ有料化」だけでは減量できない。

1. 多摩26市の可燃・不燃ごみの平均値は「452.5g/1人・1日」である。東久留米市は470.6g、平均の1.04倍である。多摩26市中10市が平均値を越えていて、その中に有料化の市が5市もある。「ごみ有料化をすれば、減量できる」ことではない。
2. ごみ減量は市民と行政の努力が必要。有料化だけでは達成できない。
3. ごみ減量は、「ごみ焼却＝環境破壊」からの脱却のため、しなければならない。

『5』東久留米市からごみ有料化「素案」が示されたが、「素案」や東久留米市ホームページには、“市役所はこう働く”と、環境を守るための指針が書かれてない。

1. 市ホームページにはごみ処理に関するデータは生データだけであり、ごみ処理費の分析がなされてない。他の市では市民に分かるように工夫して報告している。
2. 「ごみ焼却＝環境破壊」の事実を示してない。「ごみ焼却＝環境破壊」からの脱却の指針を示す必要がある。

『6』素案に、「470.6g×0.8=376g/1人・1日」ならば1億2千5百万円の処理費（負担金）、減とある。

1. ごみ収集の現状は、府中市=344.5g、三鷹市=373.6g、西東京市=383.2g、東久留米市=470.6g。東久留米市は「素案」でごみ量2割削減の財政計画を立てた。ごみ量は376gである、これならやればできる。

『7』『諸物価値上げ 家計に負担』 これでは“ごみ有料化できない”

1. 環境税の導入、厚生年金保険料値上げ、消費税値上げ、食料品値上げが押し寄せ、そして雇用不安、生活苦の時代。こんな時に一世帯「5千円/年」のごみ費用は出せない。
2. 「負担金減」でも「収集費増」なら無意味。市民負担を止めにして、ごみ減量に取組もう。
3. 市役所も市民も共に働き、1億2千5百万円の処理費の4割を使い、ごみ減量376gを達成しよう。
4. 1億2千5百万円の処理費の6割、7千5百万円は環境緑化の基金にしよう。

資料

※1 小平市 講演会、ゴミを燃やすと、「ダイオキシンのほかにもさまざまな化学物質が」
07年2月11日、摂南大学・宮田秀明教授、以下講演記録より。

ゴミは800度以上の高温で燃やしている。ゴミ焼却炉はただの焼却炉ではない、立派な化学反応炉。雑多な物を燃やすため煙や灰から100万種類にもものぼる化学物質が出ている。沢山の毒が出ている。

得ると考えます。ごみ減量化を進めるためには全ての市民の皆様にご協力いただくことが最も重要と考えております。引き続きご協力いただきますようよろしくお願いいたします。なお、有料化も非常に有効な方策の一つではありますが、広く他市の事例なども参考にし、有料化だけではなく、広報、周知活動の強化、分別収集の推進、戸別収集の実施等と合わせて総合的に取り組みを進める必要があると考えております。

- ・市としましては広報、周知活動の強化により正しい分別やごみ減量の重要性を広く周知させていただくとともに、分別収集の推進により再資源化できるものはごみにしない取り組み等に努めてまいります。またより詳細なデータや他市の事例等についても調査、研究を進めてまいります。
- ・家庭ごみの有料化によらずに同様の効果が得られる方策について情報収集に努めておりますが、現在のところ見つかっていない状況でございます。

	<p>※2 ダイオキシン連増測定装置の設置を求める陳情 平成14年11月22日(審議未了) 柳泉園組合議会議長殿 NPO法人・ごみ問題5市連絡会 理事長 ○○○○</p> <p>※3</p> <p>●URLを削除しています(東久留米市:追記)</p>	
33	<p>1. ごみ有料化は新しい増税になります。</p> <p>1) 教育も福祉もごみ処理も税金で行っているのに、なぜごみが有料化なのか? 2) 公平のためにごみ有料化するなら教育も福祉も有料化になる。次はどれなのか? 3) ごみ有料化反対、だが、ごみ減量をしていかなければならない。</p> <p>2. 環境問題への対応として「限りある資源の有効利用」のためにごみ減量の推進が必要、と(素案)にあります。</p> <p>しかし、環境問題への対応といいながら、「ごみ処理」で大量の「焼却」を行っています。ごみ焼却をすればダイオキシンが発生します。ベトナム戦争のときの枯葉剤は、今もベトナムでは勿論、沖縄で問題になっており、アメリカでも続いています。</p> <p>柳泉園組合でのごみ焼却、ダイオキシン、365日24時間監視してない、大丈夫なのか?</p> <p>3. ごみ焼却の環境破壊、逃れるためにどうするか? 1) 環境を守るためごみ焼却を止めることをめざす。 2) 焼却ごみの減量に取り組む。</p> <p>4. 焼却ごみの減量のために。 1) 生ゴミを焼却しない。(生ゴミは水分約80%。水の焼却、無意味) 2) 容器包装プラスチックの分別を厳しくする。(容器包装プラスチックの処理費は前払いしている。焼却すれば処理費は二重。) 3) 紙の分別を厳しくする。(限りある資源の有効利用)</p> <p>4. ごみ減量を市民と行政が一緒になってやっていくことが必要。 ごみ減量をして負担金を減らしても、有料化で収集費値上げをするなら、市民の負担は変わらない。有料化を止め、ごみ減量をしてごみ処理費を減らせばその費用で街が緑化できる。</p> <p>5. 諸物価値上げの時代。家計への負担が大きく、何故、ごみ有料化するのか。</p> <p>消費税アップ、環境税の導入、厚生年金保険料値上げ、食料品値上げが押し寄せてきます。</p> <p>こんな時にごみ費用は出せない、ごみ費用の削減に努めるべきです。</p> <p>ごみ有料化に反対です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家庭ごみの有料化については家庭ごみの減量化を進めるために検討しております。また家庭ごみ有料化による負担の在り方については家庭ごみの減量化にご努力いただいた方についてはその努力が反映される方式を採用する方向で検討しております。 柳泉園組合においては、ダイオキシンをはじめ、有害物質等の測定を定期的の実施し、すべて法定環境基準値内の数値となっております。尚、詳細につきましては大変お手数をおかけしますが柳泉園組合にお問い合わせください。 生ごみの分別収集や容器包装プラスチック、紙の分別の徹底にきましては、先行市の事例調査、研究を進め、「家庭ごみ有料化に向けた実施計画(素案)」にて、4つの手段として述べさせていただいた「分別収集の推進」のなかで検討を進めてまいります。
34	<p>ごみの有料化については反対です。その理由は</p> <p>①ごみを有料化することが減量化に結びつくとは考えられずまずは分別の徹底など、啓蒙活動を優先すべきと考えます。有料化したことによって、ごみ出しに対してマナーが悪くなることは、有料化した自治体でよく言われていることです。無料だからこそ、市民が工夫を重ねて、減量するように具体的に市民に訴える方法をとるべきだと考えます。</p> <p>②容器包装プラスチックを有料化することは、資源化への努力しても有料になるということで、分別する市民の協力を無力化します。ごみのもとになる容器包装を出す事業者への啓蒙活動を先にすべきだと考えます。</p> <p>③戸別収集することにより、人件費と車両数が増えることになり財政的には多くの支出をしなくてはなりません。無駄な経費を使うことになると考えます。</p> <p>まずは市民に徹底した減量化を訴えることで減量化に挑戦すべきです。 最初に有料化ありの今回の素案には反対です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 啓蒙活動については、広報等による周知を今後も引き続き行ってまいります。また、ごみの減量化や分別に関する説明会や学習会等も開催し、啓蒙に努めてまいります。 他市の事例を参考にしても容器包装プラスチックの取り扱いについては対応が分かれております。当市においては分別による再資源化も重要ではございますが、簡易包装品の購入等、まずは発生抑制にご協力いただく必要があると考え、有料化の対象品目としました。また容器包装プラスチックの有料化は、可燃ごみ、不燃ごみから容器包装プラスチックへの混入を防止する方策として、一定の効果を得られると考えております。しかしながら容器包装プラスチックは資源であり、分別を行う際には水洗い等の手間をかけていただく必要があることから価格については可燃ごみ、不燃ごみより安価に設定さ

		<p>せていただいております。事業者側への啓蒙活動につきましては「ごみ減量化資源化協力店」制度の周知を進め、簡易包装による販売等に協力を依頼するとともに、今後は市民の方に向けて加盟店の周知等にも努めてまいりたいと考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステーション収集方式におけるごみの有料化については、指定袋以外の袋などで排出されたごみの取り扱い等に問題が生じることが予想されます。戸別収集の場合、シール等により有料袋の使用や正しい分別を排出者に直接ご説明させていただくことが可能となります。このような理由から、ステーション収集ではなく、戸別収集の導入を検討しております。
35	<p>となりの県から当市に引越してきて、川の水や遊歩道がとてもきれいなことに感激しています。これは住民がいつでもきれいにすることができるごみ箱（グリーンボックス）の設置や無料であることで保障されています。有料化すると、人のところもお金でゴミにつながりきれいな街が汚れ、そして川や川ぞいの道にもゴミがあふれるでしょう。それはきれいな川で夏、元気に遊ぶ子ども達の未来を汚すことにもなってしまいます。その分の税金も納税者として払っています。まずはお金をとりやすいところからとるのではなく、予算決算のみなおしをしっかりとしてほしいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンボックスについては本来、排出できる曜日や時間、利用者も定められておりますが、常設してあることからいつでも誰でも排出できてしまう状況でございます。遊歩道の散歩中に生じたごみを直接投げ込む方等もおられるため、騒音や異臭等、近接住民の方には大きな負担となっている側面もございます。このことも踏まえながら環境美化に努めつつ、より良い方法を引き続き検討してまいります。「水とみどり」を大切にしているまちづくりに今後におきましても、ご協力お願い致します。

※ご意見はほぼ原文のまま掲載しています。